

だいじなことをわすれずに

いつでも

いっぱい

ちようせんしよう

学校だより

# くすのき

合志市立西合志第一小学校

校長 村田典子



## 今年度はあと35日の登校・・・二つのメッセージ「まほうのことは」「本を読もう」

早いものでもう2月。数えてみると、学校に登校するのはあと35日(6年生は34日)。始業式に伝えた「毎日・成長・実感」のさらなる意識付けのため、1日の全校集会で、二つのメッセージを伝えました(下はその時のスライド資料)。

### ①まほうのことは

できない、無理などの失敗イメージを強く持つと、もともとある能

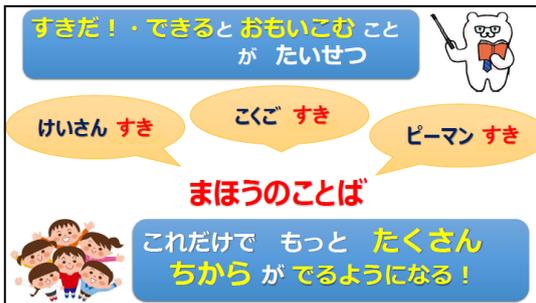
力自体がさがってしまう。だから、「すきだ」「できる」と思い込むこと。苦手なこと、嫌いなことだけれどもあえて「〇〇は好きだ」と声に出し、自分にはできるんだと思い込ませましょう、というメッセージです。

苦手なこと、いやなことであっても逃げないで挑んでほしい！という強い願いを込めています。(自戒も含めて・・・です。)

### ②本を読もう

実は、この話、「学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話」(坪田信貴著 2013年 株式会社KADOKAWA発行)を参考に紹介しました。「ビリギャル」です。本にはたくさんの生き方のエキスが詰まっていると感じます。

本校児童の1ヶ月当たりの本の貸し出し冊数は、5.3冊。



今年は恵楓園の入所者の方からのご寄付や県Pからの「震災義援金文庫」設置資金等もあり、本校図書館の蔵書も充実しています。もっと活用して、素敵な本との出会いがありますように。

## 多様な性について学びました(職員研修会)

保護者の方等にもご案内しましたように、1月30日(水)本校にて性教育講演会を開催いたしました。講師は、ダイバーシティWakuWakuの蒲生トーマス逸司さんと箕輪透士さん。同日、熊日には「LGBT 11人に1人」という見出しの記事も掲載され、タイムリーな内容でした。電通の調査によれば、該当する人の割合は8.9%とのこと。

身近におられるかも知れない、これから出会うかも知れないという意識をまず持つこと。そして多様な性について正しく理解し、適切に対応していくこと、さらにその対応の構えについて、職員一同、深く考える機会になりました。私自身は、自分の認知や認識の不十分さを省みながら、この学びを得たことで、正しく理解・支援していきたいと気持ちが高まってくるのを感じました。

ご参加いただきました保護者の方につきましては、学びを共有できて嬉しく思っております。お礼申し上げます。



## 部活動の社会体育移行に伴って・・・放課後の活動を変更予定です

サッカー、バドミントンの社会体育移行について準備委員会を中心に進めているところです。1月15日のPTA役員会では、概要についてお伝えしました。現在、実務的な内容を詰めている段階です。次年度の練習日は、サッカー:火・木 バドミントン:火・金 になる予定です。すでに社会体育である剣道は、月・水・木です。

それに伴い、放課後活動を以下のように変更する予定です。よろしくご理解の程をお願いします。

- わくわく木曜会(木曜日→水曜日)
- 放課後キッズ(木曜日→水曜日)

